

市議会では、令和元年8月に「薩摩鶏心会」、「顕姓地区畑地かんがい営農振興会」、「スポーツ推進委員会」の皆さんと市民と語る会を開催しました。

1 労働力の確保

要望 労働力不足の解消に向け、外国人技能実習生制度の活用とその受入体制の整備を図っていただきたい。

回答 J A いぶすきが取り組む「外国人技能実習制度を活用した人材確保システム」、J A 南さつまが取り組む「無料職業紹介を核とした人材確保システム」など、各機関との連携を図りながら支援を行いたい。

2 耕畜連携の推進

要望 養鶏業では鶏糞の処理が経営を圧迫している。他の畜糞との調整や耕種部門のニーズなどを集約し、本市の耕畜連携が効率的に機能するよう支援していただきたい。

回答 飼養規模拡大に伴い、鶏糞量も増加し、その取り扱いに苦慮していることは承知しているが、市としては畜産クラスター事業などを活用した施設整備とともに家畜排せつ物の適正な処理をお願いしている。

他の畜糞との調整に必要な堆肥センター等を市で整備することは困難であることから、J A や民間の堆肥センターを活用した肥料づくりに協力していきたい。

3 後継者不足解消

要望 後継者の確保のため、高収益作物の調査研究、優良農地の確保、農

業施設の更新などを支援し、また国県の補助事業等を積極的に導入していただきたい。

回答 新規就農者・新規参入者、後継者への支援策として、国の農業次世代人材投資資金や市の就農奨励金などを活用し、就農初期の経営負担の軽減を図る取組のほか、各種補助事業の積極的な導入や情報提供、営農指導、農地相談など県や農業委員会、J A 等各种機関・団体と連携しながら、魅力ある農業、儲かる農業の実現へ向けて支援を行っている。

4 畑かん事業の今後の課題

要望 畑かん事業は、事業開始から40年以上が経過している。将来の地域農業を見据え、受益者の要望に即した利用のあり方など、関係機関と協力しながら推進していただきたい。

回答 畑地かんがい施設の配管及び給水栓等は、老朽化に伴う漏水等が増加傾向にある。営農

への影響と維持管理費等を軽減するため、県営事業及び国営施設においても現在、更新事業を実施している。

なお、本市の農業従事者の高齢化、担い手不足を踏まえると、大型機械による営農への転換が予想される。農地の畦畔除去等による区画拡大、客土等の整備について地元からの要望があれば関係機関と連携し、事業実施につながるよう取り組んでまいりたい。

5 健康づくりとスポーツ推進

要望 市で「健康と運動を考える日」を設定するなど、子どもから高齢者まで運動に親しむことのできる環境を整備していただきたい。

回答 市民体育大会等で、自由参加型の体力テストやユニーススポーツ等を実践し、スポーツの大切さ、健康の大切さを実感していただく活動を行っている。

6 体育施設等の整備

要望 長期的な視点での体育施設の整備計画を策定し、大規模な大会を開催できる総合体育館等を整備していただきたい。

回答 総合体育館建設を求める声もあるが、現在の使用状況や市民の利便性、財政負担などを考



テーマ別に分かれて意見交換を行いました。
(写真は、スポーツ推進委員の皆さん)

サツマイモの病害対策

内園 基腐病等の被害が拡大している。薬剤購入補助や種芋の配布など支援策を講じる考えはないか。

市長 病害に対し、発生後の登録農薬がなく、農薬での防除はできない状況である。国・県が農薬メーカーと連携し、新農薬登録に向け取り組んでいる。基腐病については、国から土壌消毒剤やウイルスフリー苗等の支援策が示されたところである。

内園 農家の方々に広く周知していただきたい。

市長 国への申請期日が迫っているため、今回は防災行政無線で説明会の開催を呼びかけることとした。多くの生産者に参加していただき、適正な申請をしていきたい。

その他の質問

○英語民間検定試験導入の見解

○河川管理の強化

マイナンバーカードの普及促進

大久保 1月から住民票等をコンビニで取得できるようになる。

窓口に来られた市民一人ひとりに声をかけ、チラシ等を配布するなど、マイナンバーカードの取得普及につなげていく考えはないか。

市長 そういった意見を取り入れながら、より一層市民への周知に努める。

大久保 住民票、印鑑証明書、所得証明書等はコンビニ発行できるが、戸籍抄本等については、今後コンビニで発行できるようになるか。

市長 戸籍抄本等のコンビニ発行には、システム導入に多大な費用がかかる。戸籍抄本等の発行件数を勘案し、今後検討する。

その他の質問

○万之瀬川の寄洲除去

○ハザードマップの見直し

ICT教育の現状と今後の展開

日置 教育のICT(情報通信技術)化について、現状と今後を問う。

教育長 市内全ての小中学校のパソコン室に児童生徒用タブレットが完備されている。

また、市内中学校及び児童数100人以上の小学校には、校務支援システムを導入している。

導入されていない残りの学校については、早急の導入できるよう検討する。

日置 先生や児童生徒の利用を促進しサポートする「ICT推進員」の必要性をどう考えるか。

教育長 導入に向けての研究をしていきたい。

その他の質問

○SDGs(持続可能な開発目標)

○川辺清掃センター埋立廃棄物

慮しながら慎重に検討していく。

7 国体のPRや市民への周知

要望 国体に対する市民の機運が高まっていない。国体を市全体で盛り上げるためのPR等に取り組んでいただきたい。

回答 「国体ダンス」の普及や「花いっぱい運動」など学校・自治会・市女性団体等による市民総ぐるみの運動を進めてきた。また、運営ボランティアの募集・育成や募金活動など、関係機関団体等の協力で徐々に気運は盛り上がっているものと受け止めている。

PRにおいても、ホームページや広報動画作成など県内の市・町に先立って作成し、昨年度から市内各地域のイベントに出向き、ユニークで魅力ある広報活動にも努めている。

市全体が盛り上がるような取り組みとなるよう広く意見をいただきながら推進していく。

茶業振興の活性化策は

鮫島 近年、お茶の価格が低迷し、茶業農家の経営を圧迫している。茶業の活性化策について方針を問う。

市長 短期的な荒茶価格の上昇が望めないことから、生産面では、茶工場の再編や一貫経営法人の育成、多種多様な茶の生産を推進している。流通面では、首都圏での知覧茶プロモーションの展開、知覧茶サプリの開発、ホームページの開設、輸出対策に取り組んでいる。

市総合振興計画やかごしま茶未来創造プランに基づき、儲かる茶業の実現に向け、関係機関一体となり推進する。

また、令和2年11月に知覧文化会館において、全国お茶まつりを開催し、日本一の茶産地として魅力を発信していく。

その他の質問

○農業の振興について